

# 小樽商大緑丘新聞

発行所  
小樽商科大学  
緑丘新聞会  
小樽市緑丘3丁目5番地1号  
電話(代表)1101  
内線375(新聞会)

### 告 白

詩・小説等文学作品  
映画・演劇・刊行物の評論  
時事・経済・学術等の論文  
クラブ・同好会・サークルの紹介  
その他広く風情を著述します  
掲載分については報酬を請求しません

### 目 次

1面	詩	浪点
2面	論	松本 雅夫
2面	寄	野村胡堂
2面	学	生
3面	創刊50周年特集号	沿本と資料
4面	会	評

## 緑丘新聞 創刊五十周年記念特集号



＜本 学 舎 景＞

水にくるとき  
きみは私有から一瞬  
浮きあがり  
頸骨を左に傾けて  
次の一瞬  
少量の青空を私有す  
青空にきみをあたえ  
きみが見ることによ  
青空は 傾きながら  
水からあがつて  
意識がもどつてくる  
きみの意識のなかの  
酸  
きみの意識のなかの  
酸  
は あらゆる私有制  
きみの現実は一切の  
きみの夢は一切の夢  
きみがきみののは  
私有性と 青空の過  
理由だった

### 己れの対象化を 法外なる不毛に抗して

「己れ」を「対象」化する。これは、現代社会の普遍的な現象である。人間は、他者を「対象」として認識し、操作しようとする。この過程で、人間自身も「対象」化される。この「対象化」は、人間の自由と個性を削ぎ、社会の機械的規律に人間を適合させる。しかし、人間は決して機械ではない。人間は、他者を「対象」として認識する一方で、他者から「対象」として認識されることを拒絶する。この拒絶は、人間性の根幹をなす。人間は、他者を「対象」として認識する一方で、他者から「対象」として認識されることを拒絶する。この拒絶は、人間性の根幹をなす。人間は、他者を「対象」として認識する一方で、他者から「対象」として認識されることを拒絶する。この拒絶は、人間性の根幹をなす。

# 祝 創刊50周年 緑丘会々員

- |   |                                      |   |                                       |                          |                         |
|---|--------------------------------------|---|---------------------------------------|--------------------------|-------------------------|
| 伊藤忠紙パルプ販売株式会社<br>取締役社長<br>小林 芳美<br>(昭和16年後継者) | 公認会計士<br>不動産鑑定士<br>神田 和夫<br>(昭和22年卒) | ロカカイ株式会社<br>取締役社長<br>若山 永太郎<br>(昭和13年卒) | 日本新薬株式会社<br>取締役社長<br>森下 弘<br>(大正14年卒) | 三菱商事<br>横山 栄二<br>(昭和6年卒) | 税理士<br>鉢呂源三郎<br>(昭和4年卒) |
|---|--------------------------------------|---|---------------------------------------|--------------------------|-------------------------|

# 不払いが投げた波紋



〈学内各所に貼られたビラ〉

【本紙記者の取材】 小樽商大緑丘新聞の発行部局に、この日、数通の不払いの波紋が投げつけられた。これは、学内各所に貼られたビラによるものである。ビラには、不払いの波紋が投げつけられたと記載されている。これは、学内各所に貼られたビラによるものである。ビラには、不払いの波紋が投げつけられたと記載されている。

## 寄宿料の幻影から解放されよ

### 智明寮斗争委員会

【本紙記者の取材】 小樽商大緑丘新聞の発行部局に、この日、数通の不払いの波紋が投げつけられた。これは、学内各所に貼られたビラによるものである。ビラには、不払いの波紋が投げつけられたと記載されている。これは、学内各所に貼られたビラによるものである。ビラには、不払いの波紋が投げつけられたと記載されている。

## 卒業も微妙に

### 当局可能性示唆



〈長谷部学生部長〉

【本紙記者の取材】 小樽商大緑丘新聞の発行部局に、この日、数通の不払いの波紋が投げつけられた。これは、学内各所に貼られたビラによるものである。ビラには、不払いの波紋が投げつけられたと記載されている。これは、学内各所に貼られたビラによるものである。ビラには、不払いの波紋が投げつけられたと記載されている。

## ノンセンス一だべし

### 谷乱調

【本紙記者の取材】 小樽商大緑丘新聞の発行部局に、この日、数通の不払いの波紋が投げつけられた。これは、学内各所に貼られたビラによるものである。ビラには、不払いの波紋が投げつけられたと記載されている。これは、学内各所に貼られたビラによるものである。ビラには、不払いの波紋が投げつけられたと記載されている。



〈70年、前夜の新聞〉

【本紙記者の取材】 小樽商大緑丘新聞の発行部局に、この日、数通の不払いの波紋が投げつけられた。これは、学内各所に貼られたビラによるものである。ビラには、不払いの波紋が投げつけられたと記載されている。これは、学内各所に貼られたビラによるものである。ビラには、不払いの波紋が投げつけられたと記載されている。



# 王子製紙

取締役社長 田中文雄

新聞用紙・包装用紙  
印刷用紙・筆記用紙

三井建設株式会社  
常務取締役 北海道支社長

## 谷黒正二

(昭和10年卒)

安田生命保険相互会社  
相談役

中島良治  
(昭和2年卒)

公認会計士、税理士  
経済学士、法学士

宮崎三善  
(昭和3年卒)

函館製網船具株式会社  
取締役社長

池田雄亮  
(昭和5年卒)

池田法律事務所  
所長

昭和産業株式会社  
取締役相談役

熊谷成由  
(昭和5年卒)

王子製紙株式会社

緑丘新聞



半世紀の軌跡

本校は明治三十四年(西暦1901年)に創立された。創立の目的は、この地に教育の中心を築き、地域の発展に貢献することである。半世紀の軌跡を振り返ると、多くの困難を乗り越え、今日まで成長してきた。

創立以来、本校は常に時代の潮流を敏感に感じ、教育内容を充実させてきた。戦時体制下でも、教育の重要性を堅持し、生徒の健全な育成に努めた。

戦時体制の確立は、教育界にも大きな影響を与えた。戦時教育令の公布により、教育の目的が戦力増進にシフトした。この困難な時期でも、本校は教育の質を下げず、生徒の心育に重点を置いた。

戦後、民主主義の精神が広がり、教育も自由化された。本校は戦時体制からの脱却を図り、再び教育の発展の道を進んだ。現代社会に対応した教育を提供し、生徒の個性を伸ばすことに努めている。

時代の危機越え。戦時体制下の教育は、国家の存続と戦力増進のために進められた。この危機的状況下でも、教育の重要性を堅持し、生徒の健全な育成に努めた。

戦時体制下の教育は、国家の存続と戦力増進のために進められた。この危機的状況下でも、教育の重要性を堅持し、生徒の健全な育成に努めた。

軍教事件の人々

南 亮三郎

軍教事件は、戦時体制下の教育界に大きな衝撃を与えた。この事件は、教育の自由と国家の利益との衝突を象徴している。人々の記憶に残る出来事であり、歴史の教訓として受け止めなければならない。

軍教事件は、戦時体制下の教育界に大きな衝撃を与えた。この事件は、教育の自由と国家の利益との衝突を象徴している。人々の記憶に残る出来事であり、歴史の教訓として受け止めなければならない。

軍教事件は、戦時体制下の教育界に大きな衝撃を与えた。この事件は、教育の自由と国家の利益との衝突を象徴している。人々の記憶に残る出来事であり、歴史の教訓として受け止めなければならない。

軍教事件は、戦時体制下の教育界に大きな衝撃を与えた。この事件は、教育の自由と国家の利益との衝突を象徴している。人々の記憶に残る出来事であり、歴史の教訓として受け止めなければならない。

資料 当時の紙面より

当時の新聞紙面には、戦時体制下の教育政策や軍教事件に関する記事が掲載されていた。これらの資料は、当時の社会情勢や教育界の動きを知る上で重要な手がかりとなる。

当時の新聞紙面には、戦時体制下の教育政策や軍教事件に関する記事が掲載されていた。これらの資料は、当時の社会情勢や教育界の動きを知る上で重要な手がかりとなる。

当時の新聞紙面には、戦時体制下の教育政策や軍教事件に関する記事が掲載されていた。これらの資料は、当時の社会情勢や教育界の動きを知る上で重要な手がかりとなる。

本校の近況。本校は今年度も、教育の発展に努めている。最新の設備を整え、教員の研修にも力を入れている。生徒の学習意欲を高め、個性を伸ばすことに重点を置いている。



「緑丘」創刊号

本校の近況。本校は今年度も、教育の発展に努めている。最新の設備を整え、教員の研修にも力を入れている。生徒の学習意欲を高め、個性を伸ばすことに重点を置いている。

本校の近況。本校は今年度も、教育の発展に努めている。最新の設備を整え、教員の研修にも力を入れている。生徒の学習意欲を高め、個性を伸ばすことに重点を置いている。

本校の近況。本校は今年度も、教育の発展に努めている。最新の設備を整え、教員の研修にも力を入れている。生徒の学習意欲を高め、個性を伸ばすことに重点を置いている。

共栄火災海上保険相互会社  
取締役社長  
田中修吾 (大正13年卒)

長谷川正治 (昭和9年卒)  
室蘭市長

北海道中央バス株式会社  
取締役社長  
杉江猛 (大正14年卒)

株式会社青森銀行  
取締役頭取  
渡辺泰助 (昭和14年卒)

板谷商船株式会社  
北日本冷蔵氷株式会社  
専務取締役  
富崎信夫 (昭和6年卒)

株式会社芝浦製作所  
取締役会長  
西野嘉一郎 (昭和15年卒)

荒谷法律事務所  
弁護士  
荒谷一衛 (昭和23年卒)

池田昇一 (昭和4年卒)  
代表社員・所長  
監査法人栄光会計事務所

以上の方々には格別な御援助を戴きました。

# 映評



『ポンペイの最期』(原題)は、イタリアの巨匠、ロッセリニ監督の傑作。この映画は、人類の歴史に於ける最大の悲劇を描き、その雄大なスケールと、感動的な演出で、観衆の心を打ち抜く。火山の噴火の場面は、まさに天啓の如く、観衆を驚愕させる。主演の女優は、その哀愁と勇気を巧みに表現し、観衆の心を捉えている。この映画は、単なる娯楽を超え、人類の運命を問いかける力作である。

## ゲリだから映画でも

山上のぼる 四十八年度生

『ゲリ』(原題)は、戦時下の日本を舞台にした、社会派映画の傑作。この映画は、戦時体制下の社会の矛盾と、個人の苦悩を描き、観衆の心を打ち抜く。主演の俳優は、その苦悩と勇気を巧みに表現し、観衆の心を捉えている。この映画は、単なる娯楽を超え、社会の現実を問いかける力作である。

## 意識革命宇宙

著 植谷雄高 吉本隆明 (対談)

『意識革命宇宙』(著者)は、植谷雄高と吉本隆明の対談集。この対談は、意識革命の重要性と、その実現のための道筋を論じている。植谷雄高は、意識革命が人類の運命を決定する鍵であると主張し、吉本隆明は、その実現のための具体的な道筋を提示している。この対談は、読者に大きな啓蒙をもたらす力作である。

## 魔界の再構築

奇妙な全的把握の世界へ

『魔界の再構築』(著者)は、魔界の神秘と、その再構築の道筋を論じている。著者は、魔界の存在を肯定し、その再構築を通じて人類の運命を改善しようとしている。この著作は、読者に大きな啓蒙をもたらす力作である。



<フランケ魔眼と電子>

<p>株式会社北海道相互銀行 常務取締役 大和良二 (昭和15年卒)</p>	<p>新日本製鉄株式会社 広畑製鉄所 池本満雄 (昭和14年卒)</p>	<p>株式会社三陽電機製作所 専務取締役 中川和行 (昭和16年前期卒)</p>	<p>泉税務会計事務所 泉司法事務所 税理士司法書士 泉辰男 (昭和30年大卒)</p>
<p>玉井英夫 (昭和4年卒) 玉井経理事務所 公認会計士・税理士</p>	<p>北日本信用販売株式会社 取締役社長 伊部政次郎 (大正13年卒)</p>	<p>梅野弥太郎 (昭和9年卒) 専務取締役</p>	<p>大場豊 (昭和16年前期卒) 常務取締役</p>
<p>福吉俊夫 (昭和16年後期卒) 取締役総務部長 北村義郎</p>	<p>北村公認会計士事務所 北村公認会計士事務所 北村義郎</p>	<p>三沢秀雄 (大正11年卒) 監査法人栄光会計事務所 代表社員</p>	<p>岡田公認会計士事務所 公認会計士 岡田一次 (昭和16年前期卒)</p>